

平成 29 年度（2017 年度）事業報告

（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

昨年度は、米トランプ政権の「米国第一主義」政策による保護主義の台頭で世界が揺らぎ、北東アジア情勢は北朝鮮の核・ミサイル危機、中国の政治、経済、軍事的台頭で流動化しました。年が明け、北朝鮮が核問題をめぐり対外政策を激変させ、米朝首脳会談が開催される見込みです。金正恩・朝鮮労働党委員長はそれに先立ち、電撃的に訪中して中朝首脳会談を実施するなど、北朝鮮危機をめぐりサミット外交が活発化しています。しかし、一連の首脳外交に踏み切った北朝鮮の意図は不明確で、核・ミサイル問題の行先は予断をゆるしません。

こうした情勢の中、アジア調査会は五百旗頭真会長の指導の下、定例講演会のほか、近年では初めての試みとなる公開シンポジウムを開催しました。情報誌『アジア時報』で詳細を掲載するなど、日本を含むアジア太平洋地域の政治、経済、安全保障問題を中心に情勢分析を行う一方、様々な提言を行うなど活発な活動を繰り広げました。

定例講演会は4回実施しました。平成29年4月に中谷巖・三菱UFJリサーチ&コンサルティング理事長にトランプ政権の経済政策が日本に及ぼす影響を語っていただきました。5月には河野洋平元衆院議長に日中関係を、9月には小野寺五典防衛大臣に北朝鮮核問題を中心とする日本の安全保障について、また平成30年2月には杉山晋輔・駐アメリカ大使に日本の外交課題について講演していただきました。

このほか五百旗頭真会長主宰で平成29年7月と同11月に「激動の世界を語る」シリーズのシンポジウムを計2回開催し、日本を代表する研究者らをパネリストに招き中国問題、北朝鮮核問題について議論を繰り広げました。その一部を毎日新聞紙上で1ページ使い詳細として掲載しました。

毎日新聞とアジア時報が同時掲載しているアジア・太平洋賞選考委員による月1回のコラム「激動の世界を読む」も好評でした。10月には日本記者クラブで国際シンポジウムを開催しました。また、一般社団法人中国研究所との共催で「ユーラシアアジア動向セミナー」を3回開催し、中国とユーラシア地域を立体的に議論する場を設けました。

第29回アジア・太平洋賞は五百旗頭会長を選考委員長に、田中明彦・政策研究大学院大学学長、白石隆・日本貿易振興機構アジア経済研究所長、高原明生・東京大学大学院教授、小松浩・毎日新聞社主筆の5人に選考していただきました。大賞に華東師範大学周辺国家研究院院長、沈志華氏の『最後の「天朝」』（岩波書店）を、また特別賞3点を選び、11月16日に東京で表彰式・レセプションを行いました。

情報誌『アジア時報』は年10回発行し、ホームページに一部の原稿を素早くアップするなどして発信を続けました。

以上

(1) 調査・研究

◇ アジア研究委員会

アジア研究委員会は諸般の事情により現在、中止しています。新たな研究会を検討中です。

◇ 講演会・公開シンポジウム

定例講演会を4回・公開シンポジウムを2回開催しました。アジア調査会が主催する国際シンポジウムを日本記者クラブで1回開催しました。

1. 回数／7回
2. 講師／日本人 16人
外国人 1人
3. 講演場所／東京7回

平成29年度（2017年度）講演会

〔東京〕

平成29年(2017年)

- | | |
|--|----------------|
| ① 中谷 巖（三菱UFJリサーチ&コンサルティング理事長）
五百旗頭 真（アジア調査会長）
「トランプ政権後の世界経済と日本」 | 4月24日 東京・帝国ホテル |
| ② 河野 洋平（元衆院議長 日本国際貿易促進協会会長）
「最近の日中関係について」 | 5月31日 東京・帝国ホテル |
| ③ 五百旗頭 真（アジア調査会長）
宮本 雄二（元中国大使）
久保 文明（東京大学教授）
大庭 三枝（東京理科大学教授）
「トランプ政権とアジア太平洋～乱世の中の日本外交」 | 7月14日 東京・毎日ホール |
| ④ 小野寺 五典（防衛大臣）
「わが国の安全保障について」 | 9月22日 東京・帝国ホテル |
| ⑤ 五百旗頭 真（アジア調査会長）
小此木 政夫（慶應大学名誉教授）
火箱 芳文（元陸上幕僚長）
田中 均（日本総研国際戦略研究所理事長）
「北朝鮮危機と日本の対応」 | 11月8日 東京・毎日ホール |

平成30年(2018年)

- | | |
|--|----------------|
| ⑥ 杉山 晋輔（駐アメリカ合衆国大使）
「日本外交の課題と今後の課題」 | 2月21日 東京・帝国ホテル |
|--|----------------|

平成 29 年度（2017 年度）国際シンポジウム

劉 世忠（台南市副秘書長）
竹内 孝之（日本貿易振興機構・アジア経済研究所副主任研究員）
小笠原 欣幸（東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授）
坂東 賢治（毎日新聞社論説室専門編集委員）
「台湾と国際社会 台湾社会の動向を視野に」

10月12日 東京・日本プレスセンター

(2) 出 版

月刊情報誌『アジア時報』を10回発行(7・8月号、1・2月号は合併号)しました。アジア調査会主催の講演会や五百旗頭真会長主宰のシンポジウム『激動の世界を語る』シリーズのシンポジウムの詳報を掲載したほか、米トランプ政権の行方を継続して観察する『定点観測 トランプ政権』などを掲載。このほか、中国、米国政治を専門とする識者等にインタビューし国際情勢を丹念に検証する誌面を作りました。また毎日新聞と協力して実施している五百旗頭会長らアジア・太平洋賞選考委員によるリレー・コラムも継続して掲載したほか、アジア調査会が後援する日本僑報社・日中交流研究所主催の『中国人による日本語作文コンクール』の受賞作を掲載しました。

(3) 事 業

◇ 第 29 回「アジア・太平洋賞」

アジア調査会創立25周年記念事業として、平成元年に創設され、内外の優れた著書を顕彰してきた「アジア・太平洋賞」（特別協賛・スルガ銀行、協賛・日本生命、三菱商事 協力・ANA）は、学会・出版界等の注目のもと、29回目を迎えました。応募総数は104点と、国際的にも注目される賞となってきました。

第29回の受賞著書は下記のとおりで、平成29年11月16日に東京で表彰式を行いました。

《 大 賞 》 賞金 200 万円 副賞 ANA 国際線航空券

『最後の「天朝」』〔岩波書店〕

沈 志華 華東師範大学周辺国家研究院院長

《 特 別 賞 》 賞金 30 万円

『シベリア抑留』〔中公新書〕

富田 武 成蹊大学名誉教授

『自壊の病理』〔日本経済新聞出版社〕

戸部 良一 帝京大学教授

『中国の誕生』〔名古屋大学出版会〕

岡本 隆司 京都府立大学教授

◇ 毎日講演センター

各種の講演会や研修会に講師を斡旋する「毎日講演センター」は、不透明な国内政治、経済状況を反映して、各種団体、企業、自治体等からの依頼に応じて、政治・経済などの権威ある講師を派遣し、情報提供に貢献しました。

会 計 報 告

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの会計年度における総収入は34,512,609円、総支出は37,995,854円、差引損失金は3,483,245円となり、これを次期に繰り越しました。

附 属 説 明 書

該当事項がないため、記載を省略します。